

岩手県ユニセフ協会「2017 ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金キャンペーン」報告
～子どもに生きるチャンスを～ ボランティア 379 名(内 中学生・高校生 350 名)が参加



(公財)日本ユニセフ協会の協定地域組織の岩手県ユニセフ協会(滝沢市土沢)は、今年で39回目となる「2017 ハンド・イン・ハンド募金キャンペーン」に、盛岡市内、花巻市内で12月9日に実施しました。盛岡・花巻13会場のキャンペーンには、15校の中学生・高校生・大学生と一般ボランティア379名(内:中学生・高校生350名)が参加しました。※宮古市内の募金活動は12月23日の予定(別途報告します)

この募金キャンペーンで寄せられた**ユニセフ募金額は36万8,765円**でした。

ご協力いただきました企業・団体・個人のみなさま、ありがとうございました。

盛岡市内ユニセフ募金活動の様子 最初に紙芝居でユニセフ活動を学び募金活動に参加しました。



<2017 ハンド・イン・ハンド街頭募金活動：盛岡・花巻の概要>

○盛岡市内 12月9日(土) 12時～15時 7ヶ所

会場 カワトク前、ホットライン肴町、クロステラス盛岡、MOSSビル、アネックスカワトク前、ベルフ仙北、ベルフまつぞの

○花巻市内 12月9日(土) 11時～12時30分 4ヶ所

会場 アルテマルカン桜台店、ビフレ花巻店、コープ花巻あうる、イトーヨーカ堂花巻店

○参加校

県立盛岡第二高校、県立不来方高校、盛岡白百合学園高校、県立盛岡北高校、県立盛岡第四高校、
県立盛岡農業高校、盛岡中央高校、盛岡大学学生委員会、大宮中学校、河南中学校、松園中学校
県立花巻南高校、県立花巻農業高校、県立花北青雲高校、南城中学校

○寄せられた感想から

- ・初めて参加して、ユニセフ募金の意味をちゃんと知ることができ、良い経験となりました。
- ・最初の事前学習でユニセフ募金がどのような人々に届いているのか、何に使われているのかを知ることができました。たくさんの方々に募金に協力していただき、盛岡の方々の心温かさを感じました。機会があれば、またユニセフ募金活動に参加したいと思います。
- ・寒い中でしたが、声を出して活動したことでやりがいを感じることができました。参加してみて、世界には5歳まで生きられない子どもが560万人もいるということが分かりました。私も募金に積極的に参加したいと思います。
- ・今まで募金をする側として協力してこなかったのですが、今回募金活動をしてみて、募金をしてくれる人たちのお金で何百人もの人が救われるんだなと実感しました。
- ・いつも募金活動をしている人たちがいても、そのまま通っていたけどこれからは募金をしようと思いました。1円でも多くの募金ができ、世界の子どもたちが一緒に同じような教育が受けられる日が来てほしいです。とても貴重な体験をすることができました。
- ・外国人の方や子どもも協力していただき世界中で同じ気持ちをもっていることを実感できて良かった。
- ・寒い中声をかけながら募金活動に参加できて、とてもよい経験になりました。自分だけでなく、ユニセフボランティアの方や高校生がとても積極的に取り組んでいる姿をみて、ボランティアをもっとがんばりたいなあという気持ちになりました。また、募金に協力してくれた心やさしい方々とふれあうことができ、心があたたかくなりました。これからももっとボランティア活動に関心を持っていきたいです。